



たからざか



令和4年
3月発行
No.70

良質で高度な医療を提供し
住民に愛される病院を目指します。

大牟田市宝坂町2丁目19番地1

TEL 0944-53-1061

HP <http://www.ghp.omuta.fukuoka.jp/>



西5階病棟紹介

季節の飾り

西5階病棟は、整形外科、耳鼻科、皮膚科、脳神経外科の混合病棟です。病棟では、ぬくもりのある看護やケアが出来るよう、スタッフ一同頑張っています。



院内デイケア風景



整形外科回診



整形外科では、骨折や外傷疾患の患者様が多く、手術前後の看護や、術後早期リハビリに取り組んでいます。

耳鼻科では、手術加療や点滴加療の他、化学療法や放射線療法なども行っています。



耳鼻科処置





多職種カンファレンス

患者様が住み慣れた場所へ帰ることができるように多職種で協力し対応します。患者様の願いが叶うよう努めていきます。

皮膚科では、皮膚科特有の疾患に對して、必要な専門的治療や処置を行っています。



新任医師のご紹介



当院で勤務することになりました医師をご紹介します。
どうぞよろしくお願ひします。



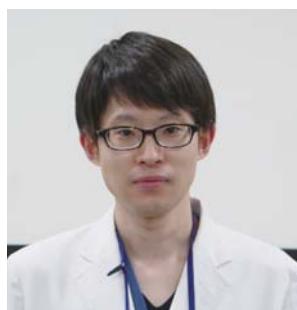
消化器内科

荒木 俊博



整形外科

白本 明大



麻酔科

木本 義敬

災害拠点病院と DMAT活動について

救急科 部長 いとう たかひこ



毎年日本のどこかで自然災害が起き、多くの被害が出ています。

2020年7月この大牟田地区も豪雨災害に見舞われました。そのような災害が発生した時に医療をになう目的で当院は災害拠点病院に指定されています。

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災を経験し、災害発生時の医療体制の充実を図るために各地域に指定医療機関が設置されました。指定されるためには色々な条件があるのですが、その中の一つに「自己完結型の医療チームを有すること」と言う条件があります。

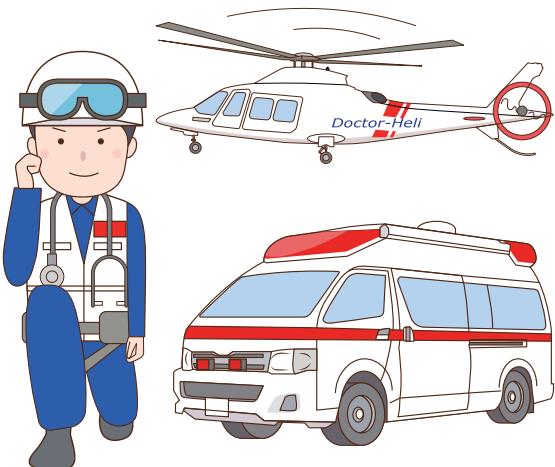
DMAT(災害派遣医療チーム:Disaster Medical Assistance Team)と呼ばれ、数年前に医療系ドラマとしてテレビ放映されたこともあり、どこかで聞いたり、見たりしたことのある方も居られるかもしれません。

チーム内容は医師・看護師・業務調整員からなります。医師・看護師は、診療に直接携わるのですが、業務調整員の仕事内容が特に重要で、被災地へ行くまでの交通手段の調整に始まり、現地の状況把握、また臨時の医療機関で患者さんカルテ作成、名簿作成、入院先病院への調整等と多岐にわたる業務をこなさなくてはいけません。また、災害時には医療資源の制限(人的・物的)もでてくることもあります。治療の優先順位を考慮したり、応急処置を行った後に被災地外にある遠くの病院へ患者さんを搬送することも考慮するなど日常の診療とは異なる診療体制をとらざるを得ない状況になることも想定されます。



令和3年度大規模地震時医療活動訓練の様子

そのような現場では我々医療従事者のみで活動を行う事はできませんので、自衛隊(航空機で医療班を被災地まで運んでもらう、多くの患者さんを一気に運ぶ手段を持っている)、消防(救出、救急車などでの搬送)、警察(安全確保、救出)、その他行政機関などと連携を図りながら活動を行います。このようなことは日々の診療の中でも救急車が複数台重なったときにはどの患者さんが検査・治療の優先度が高いか?



もし病院が被災したら、どうしたら良いのか? 等考えることも有り、年に数回ある訓練を介して常に備えをしておかなくてはいけません。

災害が起きたときには自分のことも大事ですが、ぜひお隣の人のことも助け合うような気持ちを持っていただき、冷静な行動をとっていただければ幸いです。

狭心症の検査

心臓血管内科 部長 さだ まつ 貞松 けんじ 研二



狭心症とは

心臓を栄養している冠動脈という血管が何らかの原因により狭窄もしくは閉塞し、心臓の酸素不足により胸痛を生じるものです。原因の多くは動脈硬化です。喫煙、糖尿病、コレステロール、高血圧、加齢などが代表的な動脈硬化を促進する因子です。

狭心症から急性心筋梗塞

冠動脈が突然閉塞すると急性心筋梗塞になります。急性心筋梗塞は突然死の原因となるため、正確な死亡率は不明ですが、救急車で病院に辿り着いて治療を受けても、入院中に10%弱の患者さんが亡くなられます。心筋梗塞になる前に治療を開始することが望されます。

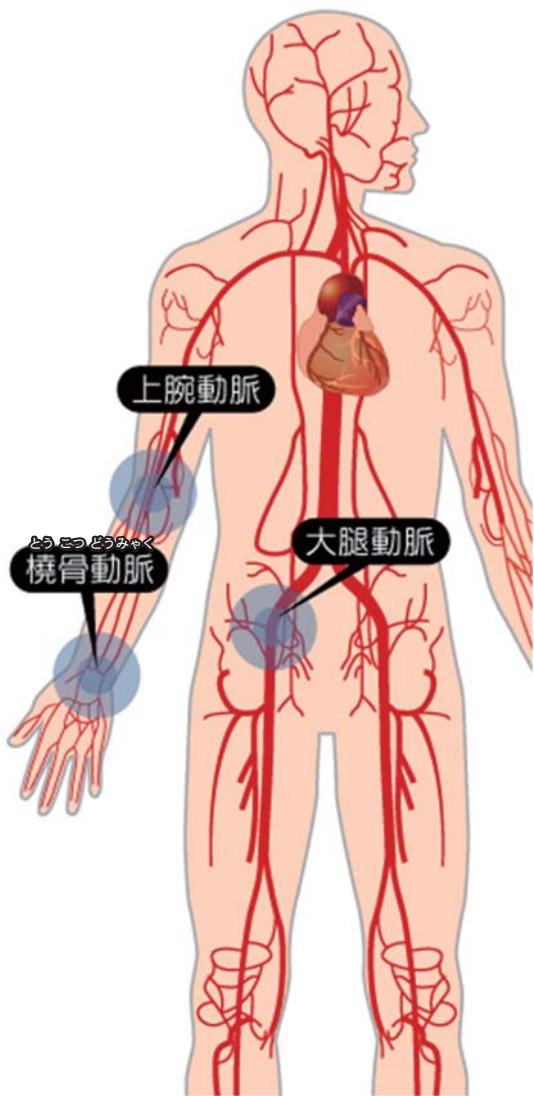
狭心症の検査

症状などから狭心症を疑った場合に行う検査として、まずは運動負荷心電図が挙げられます。運動の前後などに、心電図をとって比較するものです。ただし、画像検査の進歩により、その正確性が十分に高くなっていることが明らかとなっていました。よって、近年は積極的に心臓CT検査や心筋シンチ検査を行っています。被ばくや造影剤の副作用の問題がありますが、外来でかなり正確に診断することができます。

心臓カテーテル検査

より正確には入院して心臓カテーテル検査を行います。動脈を刺して、細いカテーテルを挿入し、冠動脈に造影剤を注入して診断します。以前は、足の付け根の動脈を刺していました。仰向けで翌朝まで動けませんでしたので腰が痛くて大変な検査でした。21世紀になる頃に、手首のところを刺す方法が登場し、検査後の安静保持が大きく軽減しました。さらに数年前に親指の付け根を刺す方法が登場しました。2020年末から

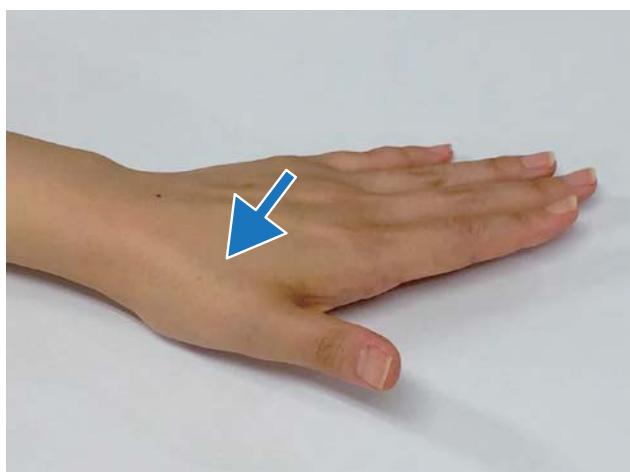
当院でも実施していますが、安静の程度や時間、痛みが低減されていますので、かなり負担の少ない検査となっていました。もちろん、危険が0ではありませんので、慎重に適応を判断します。



心臓カテーテル検査での動脈穿刺部位

最後に

狭心症の検査について解説しましたが、これには適切な診断と治療が必要です。これらの検査を受けなくていいように健康的な毎日を送るようにしてください。



遠位桡骨動脈穿刺部位

出前講座のご案内

当院では、職員が公民館等の会場に出向き、講座や実習を行う大牟田市の「市役所職員出前講座」事業に参加しています。今回はその一部をご紹介いたします。

申込みができる人 大牟田市に居住、勤務、または通学しているおおむね10人以上のグループ

申込み先 生涯学習課に開催希望日の2週間前までに申込書をご提出ください。
直接病院への申し込みはできませんのでご注意ください。

開催場所 大牟田市内の会場(会場の手配は申込者にてお願いします)

市職員出前講座 メニュー表

(メニューは令和3年4月1日現在)

①健康・福祉～健康で暮らすために～						
NO.	メニュー名	内 容	所要時間 (目安)	特 記	準備するもの	担当課等
6	フレイル予防 ～元気に暮らせる時間を増やすためのお話～	いつまでも健康でありたい方、フレイル(虚弱)チェックをしませんか？	60分	【対象】 50歳以上 ※フレイルチェックや握力測定を行うために参加者のなかから2名程度協力者が必要	—	大牟田市立病院看護部
7	一次救命処置を学ぼう	目の前で人が倒れた！その時に適切な対応ができますか？救急車が到着するまでの間に必要な処置を救急看護認定看護師がお話しします。	60分	—	・動きやすい服装	大牟田市立病院看護部
8	自分でできる尿漏れ対策	おしっこが間に合わなかったり、尿漏れで悩んでいませんか？尿漏れの原因・種類・予防を皮膚・排泄ケア認定看護師がお話しします。	40～60分	—	・プロジェクト ・スクリーン	大牟田市立病院看護部
9	感染対策のキホン	感染症から身を守るための基本的な感染対策の方法を感染管理認定看護師がお話しします。	60分	—	・プロジェクト ・スクリーン	大牟田市立病院看護部
10	知ってほしい腎臓のこと ～慢性腎臓病から腎臓を守るコツ～	あなたの腎臓は大丈夫？腎臓を守るコツを知り、生活習慣の改善をしましょう。	30～60分	【時期】 月、水、金曜の 14～17時に 実施	・健診を受けていれば採血の結果 ・プロジェクト ・スクリーン	大牟田市立病院看護部